

令和5年度 事業経営計画

令和5年度は、これまでのコロナ禍による経済社会活動の制約が順次解消され正常化していくアフターコロナ期へ移行していくことが予測される中、日本経済は、内需主導による緩やかな回復基調を維持する見通しであるものの、物価上昇や世界経済の減速による下振れリスクが懸念される状況にある。

鉄鋼需給は、建設業では、国土強靱化施策による土木部門の鋼材需要の増加や、倉庫・物流施設など建築部門の堅調な推移により鋼材需要が増加する見通しにある。また、製造業では、半導体不足などの影響から自動車部門の鋼材需要の回復は限定的とみられる一方で、堅調な建設機械需要に伴い機械部門の鋼材需要の増加が見込まれるなど、総体的に内需が底堅く推移する見通しであり、粗鋼生産も前年度から微増となる見通しとされている。

こうした取り巻く環境の下で令和5年度は、「事業継続性を踏まえた施設・設備の良好な保全」、「安全かつ丁寧な作業の更なる深化」、「将来を見据えた財務基盤の確保」を重点として予算を編成し、人材の効率的活用を推し進めるとともに販路拡大を目指し、**それぞれの事業部門において事業経営計画の達成に向けて邁進するものとする。**

記

1 倉庫事業部門

- (1) 鋼材物流のプロとしての自覚と責任を持ち、日常作業の安全・品質管理に万全を期し、完全無災害を達成する。
- (2) 能動的営業活動の推進や作業効率向上施策(揚荷能力及び回転率の向上並びに効率的な置場計画)を展開し、**取扱数量 457,200t(38,100t/月)、売上高 13億9,000万円**を目指す。
- (3) 構内施設及び設備の良好な保全により事業継続性を確保しつつ、広範な収益確保に向けた取り組みを実施する。

2 加工請負等事業部門

長い水際線と広い背後空間を有し、かつ、加工工場が構内に立地する弊社の特徴を生かした長尺品の加工及びこれまでの受注実績を糧として幅広い業種への営業活動に努め、**売上高 4億円**を目指す。

3 施設利用事業部門

資産の効率的活用にも努めると共にリサイクル関連事業の拡充により、**売上高 1億6,000万円**を目指す。